

「第1回 日本の創薬力向上シンポジウム」の開催

1 主 催 日本学術会議 薬学委員会

2. 共 催 日本薬学会 （申請中）文部科学省、厚生労働省、経済産業省

3 日 程 平成20年5月7日（水） 9：20～17：50

4 場 所 日本学術会議 講堂

5 次 第

（1）開催趣旨

日本学術会議薬学分科会では「6年制教育の充実」と「日本の創薬力向上」を二つ活動指針としている。一方、総合科学技術会議から革新的医薬品・医療機器創出のための5カ年計画（文科省・厚労省・経産省H19.4.26）として“我が国の優れた研究開発力のもとに、革新的医薬品・医療機器の国際的開発・提供体制へ我が国が参加していくとともに、日本で開発される革新的医薬品・医療機器の、世界市場におけるシェアが拡大されることを通じて、医薬品・医療機器産業を日本の成長牽引役へ導くとともに、世界最高水準の医薬品・医療機器を国民に迅速に提供することを目標とする。”ことが提案されている。本シンポジウムをシリーズで開催し、産・官・学の有識者、研究者が一同に会して議論することに、有機的且つ相乗的に「日本の創薬力向上」の実現を目指す。

（2）プログラム

1）9:20 開会の挨拶

倉崎 高明（文部科学省研究振興局 研究振興戦略官）

9:30 学術会議での薬学委員会の活動ー本シンポジウムの開催趣旨

柴崎 正勝（日本学術会議第二部会員、東京大学大学院薬学系研究科教授）

2）9:45 第1部：日本の創薬力向上、企業からの提案

① 日本のBig PharmaからGlobal Big Pharmaへの展開

青木 初夫（日本製薬工業協会会長、アステラス製薬共同会長）

② 創薬と知財のパラダイムシフト

秋元 浩 （武田薬品工業常務取締役）

③ 産学連携による未来創薬イノベーションの展望について

近藤裕郷（シオノギ製薬医薬研究本部長）

11:45 休 憩

3) 13:10 特別講演 日本の創薬力向上：アカデミアからの提案
井村裕夫（先端医療振興財団理事長）

4) 14:00 第2部：日本の創薬力向上、官・学からの提案

- ① 日本の創薬力向上のための基盤構築
長野哲雄（東京大学大学院薬学研究科教授、日本薬学会会頭）
- ② 日本の創薬力向上、審査の観点から
豊島 聡（医薬品・医療機器総合機構審査センター長）

15:20 休 憩

5) 15:30

- ① 幹細胞研究と創薬
西川伸一（理研 発生・再生科学総合研究センター 副センター長）
- ② アカデミアからの創薬：A I D Sに対する分子標的治療薬開発
満屋裕明（熊本大学大学院医学薬学研究部教授、米国癌研究所レトロウイルス感染症部部長）

17:00 パネルディスカッション司会：

藤井信孝（薬学委員会化学・物理系薬学分科会委員長、京都大学大学院薬学研究科長）

17:30 閉会のことば：

鶴尾 隆（日本学術会議第二部会員、薬学委員会委員長、癌研究会癌化学療法センター所長）

6 参加申し込み

- (1) E-mailにて必要事項（氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス）をご記入の上、下記あてお申し込みください。（定員は300名です）

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46-29 京都大学大学院薬学研究科
担当者氏名 藤井信孝 電話 075-753-4551 FAX 075-753-4570
e-mail: sugiyama@pharm.kyoto-u.ac.jp

- (2) 参加費は無料です。